

## 【光・量子ナノダイナミクス】第5回専門委員会プログラムのご案内

日時：平成24年6月11日（月）14時 - 21時

場所：東京理科大学（神楽坂キャンパス）森戸記念館第2会議室

交通アクセスの詳細はこちら：

下記の地図の『森戸記念館』です。東京三菱UFJ銀行前の「鳥茶屋」の路地を入った突き当たりです。

[http://www.tus.ac.jp/info/access/gmap/kag\\_gmap.html](http://www.tus.ac.jp/info/access/gmap/kag_gmap.html)

### プログラム

#### 第1部

14:00-14:05 委員長挨拶

14:05-14:30 調査専門委員会

14:45-15:45 外部講師による講演 1

根岸雄一先生（東京理科大学）

「サブナノスケールの金属クラスターの精密合成と構造・物性および高機能化」

「数個から数百個の金属原子が集まった金属クラスターは、その大きさが1ナノメートル程度と非常に小さいことに加え、通常の金属とは異なる物性や機能を発現するため、ナノテクノロジーを支える新しい機能性物質として大きな注目を集めている。我々は、金属クラスターを精密に合成する方法を開発しながら、その基本的性質の解明、及び高機能化に取り組んでいる。講演では、我々の最近の研究成果を紹介する。」

16:00-17:00 外部講師による講演 2

小栗克弥先生（NTT物性科学基礎研究所）

「高次高調波を用いた原子一層オーダー固体表面のフェムト秒ダイナミクス計測」

近年、短パルス化、高強度化、短波長化が急速に進展した高次高調波発生は、極端紫外から軟X線領域の超短パルスコヒーレント光源として、応用研究が注目されている。本講演では、高次高調波の極端紫外領域波長特性とフェムト秒領域短パルス特性に着目することで実現した、固体表面における数原子層オーダーの表面感性を持つフェムト秒時間分解表面光電子分光技術を紹介する。本計測技術を半導体表面電子系の光励起状態フェムト秒ダイナミクス計測に適用した研究を中心に紹介すると共に、本技術のナノ構造表面への拡張など将来展開を議論したい。

#### 第2部

18:00-21:00 自由討論・意見交換（会場を移動）